

平成14年度 全国高等学校総合体育大会
(第20回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成 14 年 8 月 17 日
会場: 茨城県・ひたちなか市営石川町プール

1回戦
ゲーム№ **4**

帽子の色	白		青	帽子の色
	福岡工業高校		関西高校	
	11		3	
天候:	晴れ		審判1: 大島 明	
			審判2: 榎本 隆	
戦 評				

福岡工業(福岡)は14年連続26回目の出場で、これまでにインターハイ優勝2回・準優勝2回の実績を持つ名門チーム。対する関西(岡山)も7年ぶりの出場ではあるが、インターハイ優勝2回・準優勝5回の実績を持ち、古豪同士の戦いとなった。

1p 両チームともスローペースでスタートし、お互いに様子見でオーバータイム繰り返す。福岡はプレスを効かせ、パスカットからカウンターアタックをみせるが、なかなかパスが上手く繋がらない。関西はマンツーマンディフェンスで粘り強い防御を見せ、特にゴール前ディフェンスが効果的。また、両チームのキーパー(福岡:野田・関西:佐々木、両3年)のナイスセーブが続く。

2p 関西フローターディフェンスが退水から5'52''に福岡 口石(2年)がタップシュートを決める(1-0)。さらにカウンターアタック図るが、関西キーパーナイスセーブ。5'00''福岡 羽野(3年)がフローターからシュート決める。福岡のプレスが効果的で関西は、なかなかゴール前に攻め込めない。しかし、ディフェンスは頑張り、特にゴール前のディフェンスは良くふんばる。しかし、オフェンスが焦りからヘッドオフの反則を犯して、カウンターアタックから福岡 中園(3年)にカウンターシュート(3-0)を許す。続けて、谷川(2年) 渡辺(3年)がノーマークで連続得点(5-0)。

3p ゲームはスローペースで展開始まる。関西はフローターの位置が浅くなり、無理してシュートを撃つが、キーパーにシュートコース読まれてしまう。4'03''福岡はカウンターから 渡辺がカウンターアタックで6点目(6-0)。さらに 羽野が連続カウンターシュートを決め、9番口石、7谷川(2年)も続けてカウンターを決め、試合は完全に福岡ペース。しかし、関西も諦めずゴール前に攻め込み退水を取り、関西 松本(1年)がパワープレーでノーマークシュートを決め1点返す(10-1)。

4p 福岡はマンツーマンディフェンスでフローターへのボールを通さず、羽野がカウンターシュート(11-1)。その後、福岡は鬼本にキーパー交代。関西も踏ん張り、ゴール前にボールが入る様になり、菊池(3年)が連続得点して反撃する(11-3)。試合内容は完全に福岡ペースで、特に中盤のプレスディフェンスが効いていた。関西では 菊池の動きが目立っていたが、なかなかシュートチャンスに持ち込めなかった。また関西は1年生多く、来年は楽しみなチームである。

記 録 者 石 塚 学